

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

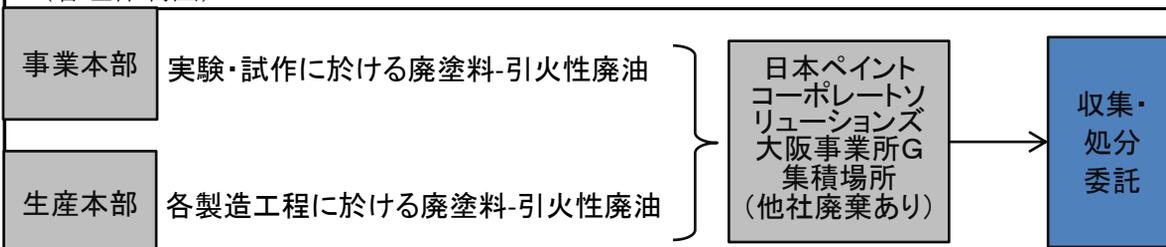
（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画書	
2024（令和6）年 6月 11日	
大阪市長 殿	
提出者	
住所 日本ペイント・インダストリアルコーティングス株式会社	
氏名 大阪市北区大淀北2-1-2	
大阪事業所長 下田 清	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 06-6455-9240（代理）	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	日本ペイント・インダストリアルコーティングス株式会社 大阪事業所
事業場の所在地	大阪市北区大淀北2-1-2
計画期間	2023（令和5）年 4月 1日 ～ 2024（令和6）年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	16:化学工業
②事業の規模	製造品出荷額（前年度実績）： 53,840百万円（全社） ※大阪事業所単体での出荷額は不明
③従業員数	199名 ※同敷地内にて協働する子会社・関係会社を含めると232名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>The flowchart illustrates the waste treatment process. It starts with '事業者 排出' (Business Discharge) leading to '排出' (Discharge). From '排出', the process branches into two paths. Path 1: '処理業者①' (Treatment Company 1) performs '溶解' (Dissolution) and '焼却' (Incineration), producing '汚泥' (Sludge). Path 2: '処理業者②' (Treatment Company 2) performs '混錬による原燃料化' (Original fuel conversion by mixing). From '汚泥', the process goes to '中間処理' (Intermediate Treatment), which includes '溶解' (Dissolution), '燃え殻・ばいじん' (Ash/Dust), and '中和・凝集沈殿' (Neutralization/Coagulation/Sedimentation). From '中間処理', the process goes to '最終処理' (Final Treatment), which includes '最終処分（管理型）' (Final disposal (management type)). From '最終処分（管理型）', the process goes to '再資源化' (Resource Recovery), which includes '熔融スラグ（リサイクル）' (Molten slag (recycling)) and 'セメント燃料化・原料化 路盤材として使用（リサイクル）' (Cement fuel conversion/ingredient conversion, used as road base material (recycling)).</p>

（日本工業規格 A列4番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



※日本ペイントコーポレートソリューションズ: 同事業所内にある他社を含めて一括管理

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 ( 2023 (令和5) 年度) 実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排出量	68 t	t
	(これまでに実施した取組) 2021年度に発生した技術的な要因による想定外の製品残さについて2022年度までにほぼ廃却が済んだこと、並びに同様のイレギュラーな排出を出さないように技術的改良を進めてきた。その結果2023年度は特別管理産業廃棄物の排出量は大幅な削減が見られた。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排出量	70 t	t
	(今後実施する予定の取組) 昨年度まで続いたイレギュラーな排出は落ち着いたため通常通りの廃棄物量削減活動に戻す。 昨今の化学物質安全の規制強化に伴い、設計配合の見直しを進める。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 日本ペイント株式会社大阪事業所内にて区画分別。 ラベルによる表示。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状維持。

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（2023（令和5）年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（2023（令和5）年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
（これまでに実施した取組） 特になし			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
（今後実施する予定の取組） 特になし			

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（2023（令和5）年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

## 特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2023（令和5）年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	
	全処理委託量	68 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	68 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		

②計画	<b>【目標】</b>		
	特別管理産業廃棄物の種類	<b>引火性廃油</b>	
	全処理委託量	70 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	70 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
(今後実施する予定の取組)			
<b>現状維持</b>			
電子情報処理組織の使用に関する事項	<b>【前年度（2023（令和5）年度）実績】</b>		
	特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	68	t
	(今後実施する予定の取組等) 現状維持		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
  - 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
  - 5 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
  - 6 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条第4項第5号イからハまでに掲げるものをいう。)を除く。)を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
  - 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
  - 8
  - 9 ※欄は記入しないこと。